

市議会

News From Iseaki
City Assembly Report

いせさき

平成28年
1月1日
No.55

- 第5回定例会が開かれました
- 伊勢崎市部設置条例の一部を改正する
条例案など31議案が可決されました

いせさき明治館

第5回定例会

11月30日～12月17日

定例会の概要	2P
主な議案の概要	2P
一般質問	3～9P
常任委員会審査	10P
議案等審議結果	10・11P
各種お知らせ	12P

新年の御挨拶



議長
野田文雄

市民の皆様には、よき新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃から市議会に対しまして、特段の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、本市においては、第2次伊勢崎市総合計画がスタートしました。市議会といたしましても、「夢ふくらみ安心して暮らせる元気都市いせさき」の実現に向け、より一層の努力を重ねてまいり所存でございます。

どうぞ本年も変わらぬ御支援、御鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げまして年頭の御挨拶といたします。

平成28年 1月 1日 | 市議会いせさき

次のようなものが禁止の対象です



落成式、開店祝の
花輪



地域の行事やスポ
ーツ大会への飲食
物の差し入れ



お祭りへの寄附や
差し入れ



葬式の花輪、供花
等



代理が出席する場
合の葬式の香典



入学祝、卒業祝

寄附禁止の ルールを 守りましょう

◆政治家は、選挙区内の人などに寄附をすることは禁止されています。

◆第三者が政治家を名義人とし、選挙区内の人たちに対する寄附をすることも禁止されています。

◆政治家の後援団体が選挙区内の人たちに対し行う寄附も、同様に禁止されています。

◆選挙人も候補者等に対し、寄附を求める事はできません。

次回定例会日程表(予定)

2月22日(月)	本会議
25日(木)	本会議
26日(金)	本会議(一般質問)
29日(月)	本会議(一般質問)
3月 2日(水)	予算特別委員会
3日(木)	予算特別委員会
7日(月)	総務委員会
8日(火)	文教福祉委員会
9日(水)	経済市民委員会
10日(木)	建設水道委員会
18日(金)	本会議

- 世界遺産群とまちなみ保全
- 年間管理委託事業の予定価格事前公表
- 伊勢崎浄化センターにおけるバイオマス発電設備等
- 境島村まちづくりビジョン
- Made in いせさき事業

調査事項

4月21日	佐賀県小城市議会
8月5日	大分県大分市議会
10月20日	群馬県中之条町議会
11月6日	愛知県岡崎市議会
11月18日	北海道北見市議会

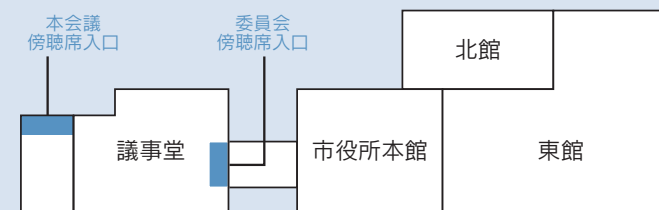
特色ある施策や先進的な事例を視察するため、本市の事業を視察に訪れました。

平成27年度視察来訪

議会を傍聴しましょう

本会議は議場で、予算特別委員会及び常任委員会（総務委員会、文教福祉委員会、経済市民委員会、建設水道委員会）は委員会室で行われ、開会は、午前10時からの予定です。

なお、日程、時間等は変更になることがあります。



本会議傍聴席入口

【答弁】 旧豊受小学校跡地は、豊受地区の行事のほかにも、民間の企業の皆さん等のグラウンドゴルフやゲートボール等で大変有効に活用されています。土地の管理については、豊受地区区長会長と利用に関する管理契約を結んで管理をしています。



旧豊受小学校跡地から見た豊受公民館

今後は、地域住民の御意見を参考に、土地の有効活用を考え方を取りまとめたいです。

【質問】 豊受公民館の南に旧豊受小学校跡地があります。ここは昔から豊受地区の中心地として栄えてきましたが、今は年に何回か地区行事の際に使用される程度で、普段はほとんど使用されず、南側は雑草も生え、放置されたままになっています。

また、豊受公民館も古くなり、少々暗い感じがするため、行事以外での人の出入りはほとんどありません。公民館は明るくて活動的な環境を想像していますが、現在は、程遠いと思います。

豊受公民館の改修が、2、3年の間に予定されていると思いますが、その時期にあわせて、旧豊受小学校跡地の整備を推進し、一体となって活用できれば、みんなが集える場所、常に賑わいの場所となり、活力が湧いてくると思います。計画策定の考えを伺います。

【その他の質問】

- ・白血病ドナーへの対応について
- ・南部工業団地の拡張について
- ・街路樹の選定について

【答弁】 避難所の数は、一定期間滞在できる指定避難所を100カ所指定しており、全ての指定避難所を地震時において指定緊急避難場所として指定しています。それぞれの避難場所には標識看板を設置していますが、位置や大きさについては、今後研究していきます。



避難場所の標識看板

【その他の質問】 避難者の119番通報について

・市民課窓口混雑予想カレンダーについて

・自動給水分配装置について

域の特性や避難経路の確認をしていたいです。

次に、避難所の増設については、新たに設置される市有施設に加え、民間の事業所等に協力を得て、確保を図りたいと考えています。

また、防災マップは適宜見直しを行い、洪水ハザードマップについては河川管理者による浸水想定区域の見直し等が行われた場合に、速やかに見直したいと考えています。さらに、避難所の耐震化や防災倉庫の増設、高齢者や障害者に配慮した福祉避難所の指定等を進めていきたいと考えています。

豊受公民館の改修と旧豊受小学校跡地の整備について

伊勢崎クラブ
佐藤 幸夫

災害時の避難所について

伊勢崎クラブ
新藤 靖

第5回定例会の概要

今定例会の市長提出議案は、条例関係16件、平成27年度補正予算8件、人事案件4件、その他3件の合わせて31件です。(審議結果は、10ページから掲載)

11月30日
本会議が開かれ、第5回定例会の会期を12月17日までの18日間と決め、会議録署名議員の指名を行いました。

次に、伊勢崎市部設置条例の一部を改正する条例案など27議案について、市長から提案理由の説明があり、質疑が行われた後、所管の各常任委員会に審査を付託しました。

12月26日

一般質問が行われ、14人の議員が質問し、市長、教育長、選挙管理委員会委員長及び所管の部長などから答弁がありました。(一般質問の概要は、3ページから掲載)

12月7日

総務委員会が開かれ、付託された9議案及び請願について審査が行われました。

12月8日

文教福祉委員会が開かれ、付託された6議案について審査をした後、所管事務調査が行われました。

12月9日

経済市民委員会が開かれ、付託された4議案について審査をした後、所管事務調査が行われました。

12月10日

建設水道委員会が開かれ、付託された8議案について審査をした後、所管事務調査が行われました。(各常任委員会の審査の概要は、10ページに掲載)

12月17日

本会議が開かれ、各常任委員長から付託された議案について報告があり、採決の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

続いて、人権擁護委員候補者の推薦について4議案を審議し、異議ないものと決定されました。

主な議案の概要

伊勢崎市部設置条例の一部を改正する条例案

機構改正の実施に伴い、福祉部を福祉こども部と長寿社会部に分割・再編し、あわせて中心市街地整備部を都市計画部に統合するものです。

伊勢崎市市税条例の一部を改正する条例案

地方税法の一部改正及び番号法の施行に伴い、地方税の猶予制度について、納税者の負担の軽減を図るとともに、早期かつ的確な納税の履行を確保する観点から、納税者の申請に基づく換価の猶予制度を創設するなどの見直しを行うものです。また、番号法の施行に

伴い、市民税、固定資産税、軽自動車税、特別土地保有税及び入湯税の各税目において、納税義務者、特別徴収義務者等から提出される申請書等の記載事項に、当該申請者等の個人番号または法人番号を加えるものです。

伊勢崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例案

利用者負担の額を算定する市町村民税額の計算について、所得税及び住民税における寡婦(夫)控除が適用されない婚姻歴のないひとり親家庭の父または母に対し、寡婦(夫)控除の、みなし適用を実施するもの及び2号認定、3号認定のB階層における利用者負担の額を分離し、市町村民税均等割のみ課税世帯については3000円とし、市町村民税非課税世帯については1500円に改め、あわせて条文の整備を図るものです。

伊勢崎市民病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案

伊勢崎市民病院の通常の診療時間以外における診療に際し、緊急を要しない軽症の外来患者から、時間外に係る保険外併用療養費用を徴収することに伴い、改正の必要を認めたものです。

町の区域の変更及び字の区域の廃止について

伊勢崎宮郷工業団地造成事業の施行に伴い、田中町の一部を東上之宮町に、東上之宮町の一部を田中町に変更し、阿弥大寺町の一部を田中町に変更し、同区域内の字を廃止するものです。

平成27年度 各会計補正予算

(単位:千円)

区 分		補正前の予算額	補正額	計
一般会計 (第4号)		74,610,864	1,103,741	75,714,605
特別会計等	小型自動車競走事業費 (第1号)	15,266,184	43,273	15,309,457
	国民健康保険 (第1号)	25,121,163	△ 201,738	24,919,425
	介護保険 (第2号)	15,757,233	△ 24,377	15,732,856
	下水道事業費 (第2号)	3,094,940	71,679	3,166,619
	病院事業 (第2号)	14,899,004	667,894	15,566,898

※病院事業の予算額は、支出予定額を掲載しています。

伝統的繊維産業の再構築について

政経クラブ
堀 地 和 子

質問 小幡織物である伊勢崎絰や銘仙は、和服を着る人の減少で生産はほぼ停止の状況です。歴史の一部となつてしまふ運命かと多くの人が感じています。そこで、この現状をどのように捉えているかお尋ねします。

次に、その活性化や普及、啓発、発展を目的に交付された補助金の額、補助率及び効果について答弁を求めます。また、銘仙フーム、世界的な和のフームや世界遺産の風に乗り、銘仙に関心が高まっています。今、本市に必要なことは、訪れる人が魅力的な伊勢崎の絹物語を味わってもらえる環境整備です。製造業から文化観光産業へのシフトの考えをお聞かせください。

答弁 本市では、伊勢崎織物協同組合が中心となり、伊勢崎絰や伊勢崎銘仙を初めとした繊維産業の振興を図っています。しかし、伊勢崎織物協同組合に所属する組合員数と組合員の総出荷額は、平成19年度が48人で、20億8713万円、平成25年度が30人で、14億6843万円となっており、消費者ニーズの多様化に伴い年々減少しています。

そこで、織物産業の活性化を図るため、昨年度は伊勢崎織物協同組合が行う宣伝事業や新商品開発事業等に対し、



伊勢崎織物会館

その他の質問
・民との連携における協働から共創への考えについて
・ごみの減量化及びCO2の削減について

質問 日本は今、超高齢社会であり、多岐にわたる分野で労働力が不足しています。その労働力不足の解消として、外国人労働者が期待されています。

そこで、本市の外国人住民登録者数、人口比率、小・中学校の外国籍児童・生徒数の占める割合をお示しくください。また、外国人の多い大泉町は、外国人労働者が町内全域に居住しているということですが、本市に外国人住民の集住地域はあるのかお聞きします。

次に、多言語での広報活動や言葉の壁を解決するために、どのような工夫をしているのかお尋ねします。

次に、日本語教育支援体制の現状と将来展望についてお聞かせください。また、多文化共生のための取り組みの現状をお知らせください。

答弁 本市の本年9月末の外国人住民数は1万532人、対人口比率5%です。また、外国人の集住地域は、本年9月末現在、外国人の多い順に山王町610人、長沼町390人、連取町379人、除ヶ町366人、今泉町一丁目351人です。外国籍児童・生徒数は小学校636人、全体に占める割合は5・2%。中学校300人、全体に占める割合は4・8%となっています。なお、在籍数が最も多い小学校は

外国人住民との共生・協働について

伊勢崎クラブ
六 本 木 摩 美

99人、中学校65人です。

広報活動では、外国人生活ガイドブックを作成し、市民課の窓口や外国人経営店等で配布しています。また、日常生活での不安解消や生活ルールなどの指導や助言を行う外国人相談窓口業務を実施しています。

日本語教育支援体制は、日本語教育の充実を図るため、外国籍児童・生徒が多く在籍している小・中学校に日本語教室を設置しています。今後の計画では、本市の課題である多国籍化、多言語化に対応できるよう、来日直後の児童・生徒に対する初期対応の充実を図っていききたいと考えています。

次に、多文化共生施策の現状として、外国人住民との協働によるイベントの実施、外国人児童・生徒の教育を支援するNPO法人との連携、さらに、多文化理解市民講座を開催しています。今後も共通の問題を抱える都市や関係機関、団体と連携し、外国人相談窓口の充実やイベントの開催等をより工夫した内容で実施し、多文化共生社会の実現に向け、外国人住民との共生・協働施策を推進していききたいと考えています。

その他の質問
・防犯カメラについて

読書の街いせさきについて

公 明 党
阿 久 津 尚 子

質問 読書の街いせさきについて、過去3年間の図書館での貸し出し数の推移と取り組みをお聞きます。

また、読書をする人を増やすために、他市の事例から二つの提案をさせていただきます。

一つ目は、おたのしみ袋です。家族で楽しむ本、笑顔になる本などをテーマに掲げ、5冊の本を選考して紙袋に入れ貸し出しを行います。

二つ目は、読書通帳です。心の貯金として、読書履歴を残すことができ好評ということなので、ぜひ、導入すべきと思いますが、お考えをお聞きます。

答弁 まず、図書館での資料の貸し出し数は、平成24年度103万3141点、平成25年度99万511点、平成26年度97万250点で、本年度は、前年度の同時期と比べ増加しています。

本市では、平成18年度から読書の街いせさき推進事業を実施しており、親子読書を応援する、親子でびよんぴょんや、家庭で読書をする家読を促進する読書マラソンなどがあります。また、誰でもどこでも気軽に本に親しめる街角文庫があります。

さらに、11月に図書館システムの更新を行い、学校図書室から直接本市図



読書の街いせさきのキャラクター

その他の質問
・まち・ひと・しごと創生について
・徘徊高齢者等位置情報サービスについて
・有害サイト見守り隊事業について
・境島小学校の活用について
・給食残渣の再資源化について

書館の蔵書検索が可能となり、子供たちは学校にいながら図書館を活用することができるようになりました。また、御提案いただいたおたのしみ袋ですが、いつも読んでいる本と違うジャンルの本に出会える機会として意義ある取り組みであり、読書週間の事業として、実施したいと考えています。二つ目の読書通帳ですが、子供たちが読書に取り組み励みになるような事業の一つとして、今後研究していきたいと考えています。

赤レンガ倉庫について

伊勢崎クラブ
長 沼 宏 泰

質問 本年度に境赤レンガ倉庫改修工事基本設計及び実施設計が発注されました。赤レンガ倉庫活用方針の検討結果が基本になると考えますが、その中で富岡製糸場と絹産業遺産群として登録された田島弥平旧宅を含めた境島村と、赤レンガ倉庫を拠点とした旧境町市街地との連帯による地域活性化が必要とあります。しかし現実には貴重な歴史的建物が十分管理されず、空き地も多くなつてきています。地域の私たちは、境遺産活用の第一歩としての赤レンガ倉庫の整備と考えていると思います。

そこで、赤レンガ倉庫の整備内容、今後の予定及び飲食等の提供について市の考えをお聞かせください。

答弁 整備を行うに当たり、昨年度、赤レンガ倉庫活用検討会議を開催し、地元の皆様から現在の雰囲気を残した上でイベントや展示スペースを備えて欲しいとの意見がありました。また、本年度、内閣府の地域再生戦略交付金の充当が可能になり、建物保存を最優先に、会議で集約した意見を取り入れ、ユニバーサルデザインに配慮した建物となるよう設計業務委託を発注しました。さらに、田島弥平旧宅と連携を図ることで、赤レンガ倉庫がまち



境町駅前の赤レンガ倉庫

その他の質問
・TPPに対する本市の考え方について
・雪害対策について

づくりの拠点となり、本市の観光振興に大いに貢献できる施設として活用できるよう慎重に検討しています。今後の予定は、本年度進めている実施設計に基づき、地域再生戦略交付金を活用し、赤レンガ倉庫の整備に取り組んでいききたいと考えています。なお、厨房等を設置して飲食を提供することを用途とする場合には、消防用設備などが新たに必要となり、レンガ面の景観や強度に対する影響が大きくなるため、厨房等の設置は難しいと考えますが、持ち込みなどによるさまざまな利用形態も考慮して検討していきたいと考えています。

いせさきドリーム商品券について

政経クラブ
森田 修

質問 今回のプレミアム付商品券は、国からの補助もあり、20%のプレミアムということで、いせさきドリーム商品券として販売しました。

いせさきドリーム商品券は、完売したと聞いていますが、販売状況についてお聞きします。

また、新聞報道によりますと、他市では、商品券が売れ残ったとの事です。が、本市の状況について伺います。

また、今後の方針についてもお聞きしたいと思います。

答弁 本年6月22日から7月17日まで、往復はがきで購入希望者を募集しました。有効応募者数は2万3822人で、抽選とさせていた

確認をするなどの方法も検討しましたが、利用期間が短くなってしまうことなども考慮し、最終的には、抽選に外れた方3255人を対象に、9月13日市役所東館市民ホールで先着順により引きかえを実施し、全ての商品券の引きかえが終了いたしました。

次に、今後の方針ですが、いせさきドリーム商品券発行事業は、国の交付金を活用していることから本年度限りとなりますが、例年実施しているプレミアム付商品券発行事業は、今後実施予定の、いせさきドリーム商品券利用者アンケートの結果と本市の財政状況を考慮して検討していきたいと考えています。

その他の質問

- ・赤レンガ倉庫について
- ・地方創生について



いせさきドリーム商品券

次に、商品券の引きかえは、市役所東館市民ホール、境公民館、伊勢崎商工会議所の3会場で、8月22日から30日までの土曜日、日曜日の4日間と、市役所東館市民ホールで8月31日から9月4日までの5日間実施し、当選者の97%の1万9952人が引きかえをしました。引きかえ金額は9億2155万円で、引きかえ未了商品券の金額は2845万円でした。

そこで、引きかえ未了商品券の引きかえ方法について、外れた方に電話で

前橋市・高崎市・伊勢崎市の3市における基幹業務システムの共同利用について

伊勢崎クラブ
宮田 芳典

質問 総務省が公表した電子自治体の取り組みを加速するための10の指針では、自治体クラウドの導入が最優先課題として位置づけられています。

自治体クラウドとは、情報システムを外部のデータセンターで運用・管理し、複数の自治体で共同利用する取り組みで、運用コスト削減や、重要情報の安全性の高まり等が期待できます。

平成25年9月議会において、自治体クラウド導入についての答弁がありました。が、その後の検討、基幹業務システムの共同利用に至る経緯、現状及び今後の展開について伺います。

答弁

情報システムの高度化・多様化に伴う負担は今後ますます大きくなることから、自治体間の連携が必要と考え、情報システムの効率的な調達及び運用を目指し、平成23年度から前橋市、高崎市と検討会議を開始しました。将来の共同利用を視野に入れつつ、平成24年度の住民基本台帳法の改正や平成25年度制定のいわゆる番号法への対応では、3市共同で制度の研究や情報システムの設計に取り組み、共通仕様に基づきシステム改修を実施し、平成26年度には、基幹業務システムの基盤部分で共同利用が実現しました。運用経費は、従来の単独運用に比べ



基幹業務システムの今後の展開は

その他の質問

- ・用排水路周辺の浸水及び冠水被害について
- ・工場における緑地規制緩和について
- ・がん検診について

生活道路整備促進について

伊勢崎クラブ
須永 聡

質問 生活道路は、日常生活を営む上で最も身近な道です。そのため、陥没や損壊などによる支障が生じれば、日常的な不満につながります。

そこで、要望の現状として、補修、道路改修、現道の舗装新設について、過去3年の件数、地区別の割合についてお聞かせください。

次に、要望してから整備まで随分待たされているといった声を耳にしますが、着工までの期間の目安を市民に知らせることで、漠然とした不安を払拭できると考えます。そこで、要望が上

がってから整備までに要する平均的なスケジュールをお聞かせください。

また、整備を優先する判断基準がありましたらお聞かせください。

答弁 平成25年度以降に提出された要望書は、現道の舗装の改修が31件、新設が50件。道路側溝の改修が37件、新設が20件。道路改良が28件で、平成25年度以前の要望を含め、現在までに

整備が未完了の件数が154件となっています。また、各地域別の要望書の提出状況は、伊勢崎地区が全体の約40%、赤堀地区、東地区はそれぞれ約15%、境地区は約30%となっています。

次に、整備までに要する期間ですが、危険度の高いものや老朽化の著しいものを優先し、対応しています。事業期間が長期にわたる道路改良については、一般的な拡張事業に要するスケジュールとして、事業着手より測量設計業務でおおむね1年、用地買収及び物件移転補償で1年から3年、本体工事に1年から3年となっており、現在着手している路線は平成20年頃の要望箇所となっています。

要望道路の整備における優先判断は、地域住民の利用頻度や通学路としての利用状況、事業費用、危険性、緊急性等を考慮して整備方針を決めています。

雨水対策については、現状で側溝が整備済みの箇所は、側溝清掃や補修を行い機能の回復に努めています。また、道路側溝を新設する路線については、下流断面や雨水幹線等の状況を見ながら計画的な整備を行っています。

その他の質問

- ・放置竹林について
- ・広域観光について

学校給食について

伊勢崎クラブ
小暮 笑鯉子

質問 子供は、おいしいものを食べさせてもらえると、愛されていると感じるそうです。食事から愛情が伝わり、温かい記憶となって残ります。

そこで、平成28年に建設される新学校給食調理場について伺います。

まず、6月議会で、市長が日本一おいしい給食がつくれる給食センターとの答弁がありました。が、学校給食調理場の設計のもととなるコンセプトをお聞かせください。

次に、学校給食あり方庁内検討委員会の委員構成と学校給食運営委員会とのかかわりについて伺います。

また、保護者、児童・生徒への周知やアンケート、パブリックコメントの実施についても、お聞かせください。

そのうち子育て中の女性職員が1人います。学校給食あり方庁内検討委員会で検討した素案を、学校給食運営委員会で検討し、承認をいただいています。また、保護者、児童・生徒への周知は、新学校給食調理場の稼働開始時期や全体の配送区域が具体的に決定した後に行います。なお、アンケートを実施する予定はありませんが、パブリックコメントは実施し、施設整備に生かしたいと考えています。

次に、学校給食全体の見直しですが、2回転調理の解消や、米飯給食の回数、手作り感のあるメニューの実施など、新調理場建設を含めた今後の施設整備計画の中で、検討したいと考えています。

さらに、学校給食を通じて、子供たちの郷土への理解や関心を深め、地域の農業や食文化を学ぶなどの教育的観点から、引き続き地場産食材を積極的に活用したいと考えています。また、献立作成においても、子供たちが関心を持てるような地域の伝統食や世界の料理、リクエスト給食などを、今まで以上に取り入れて、魅力ある学校給食を提供していきたいと考えています。

その他の質問

- ・学校施設及び公園のトイレ管理について

夜間中学設置について

政経クラブ
多田 稔

質問 全国的に夜間中学に通う方の8割が外国人で、不登校だった方の利用も増えています。

文部科学省は全都道府県に最低1校は夜間中学を設置できるよう、財政支援や広報活動に力を入れると報道がありました。

このような動きを踏まえ、6月議会では夜間中学の必要性に対する認識と設置の考え等を質問しました。

本市は外国系住民が多く潜在的ニーズがあると考えられる。就学ニーズの把握を初め、夜間中学を設置する場合の課題等について、県教育委員会と連携しながら、その必要性や可能性を含め、調査研究する、との御答弁を頂きました。

そこで、就学ニーズ調査の結果及び県教育委員会と調査研究した結果についてお伺いします。

さらに、本市の夜間中学設置に対する方針と来年度の具体的な行動計画についてもお伺いします。

答弁 文部科学省の調査によりまずと、夜間中学で学ぶ人の約8割が外国籍住民であるとの実態が報告されています。

就学ニーズ調査については、現在のところ行っていないませんが、群馬県では



夜間中学設置の考えは

本市以外にも外国籍住民が多く住んでいる地域があります。そのため、夜間中学の設置は、県全体として取り組むべき課題であり、県教育委員会主導のもと引き続き調査研究していきたいと考えています。

また、児童・生徒が夜間に通学することを考えた場合、危険性や心身への負担の増加が想定されます。これらの点を考慮すると、NPO法人等との連携を深め、外国籍児童・生徒に対する日本語教室の充実に取り組むことが、安全かつ効果的であると考えています。今後も本市としましては、児童・生徒の教育の充実に努めていきたいと考えています。

その他の質問

・広報ポリシーについて
・外国系児童・生徒の教育について

介護及び介護予防事業について

日本共産党議員団
長谷田 公子

質問 要支援1、2の人の訪問介護つまりヘルパーの利用と、通所介護つまりデイサービスの利用などが、来年度から介護予防・日常生活総合支援事業に移行します。9月議会以来10月から人的基準を緩和したサービスを開始したい旨の御答弁がありました。が、人的基準の緩和とはどのサービスにおけるどのような緩和を意味するのか、具体的に教えてください。

また、要支援1、2の人でもヘルパーが行くことで、状態の悪化などを察知してケアマネジャーにつなぎ、的確なケアが進むことがあると思います。専門性の欠けた方が在宅の方の御世話をできるという緩和だとすると、利用者や家族が希望しない場合は、市からそのサービスに誘導すべきではないと思います。が、いかがですか。

さらに、本市は厚生労働省の言う多様なサービスについて、どのような事業展開を進めるのか考えをお聞かせください。

答弁 本市では、来年10月から緩和した基準によるサービスを開始する予定です。介護予防における訪問介護の利用状況は、約9割の利用者が掃除、洗濯等の生活援助のみを利用していることから、訪問介護員でなくとも生活

援助のサービス提供ができるような基準を緩和した事業の実施を予定しています。あわせて、サービスの多様化として、短時間のサービス提供についても検討をしているところです。利用者には選択の幅が広がり、事業者には新規参入の機会になると捉えています。

訪問介護は、介護職員初任者研修を修了した者という資格要件があります。が、介護事業所に所属する者で、市が行う研修受講者という緩和を考えています。今後報酬単価の見直しも行いますが、必要量を確保できるかという問題もあります。現行の事業も継続する予定です。現行の訪問介護を希望する方については決して誘導はせず、基本的にその意思を尊重したいと思っています。

その他の総合事業の取り組みは、地域の高齢者だけでなく、子供など年齢や性別を問わず誰でも気軽に集うことができる居場所づくりについて検討しています。居場所づくりで、地域住民が相互に交流し合う活動を通して、支え合う地域社会を構築するための地域拠点ができると考えています。

その他の質問
・市民病院の運営について
・公契約について

ヘルスケアポイント制度について

公明党
手島 良市

質問 健康づくりへの取り組みに特典を与えるヘルスケアポイントの付与について、政府は本年度中にガイドラインを策定、周知するとしています。

既に一部の健康保険組合や市町村では、運動や健診を受けるなど健康づくりの取り組みに対しポイントを付与し、ポイントがたまると、地域商店街等で利用できたり、健診の支払いに充てたりできる制度を導入しています。

介護が必要になった方の主な原因は、関節疾患や運動器障害と言われています。このことから、適度な運動を促すことで健康寿命を引き上げ、結果的に医療・介護費を抑える有効策になりうると思われます。

そこで、本市において、健康寿命を引き上げ、医療・介護費を抑える対策についての現状をお聞きします。

次に、ヘルスケアポイント制度の導入の考えについてもお伺いします。

答弁 3月に策定した第2次健康増進計画により、軽スポーツの普及促進を図るとともに、運動教室の開催や食生活改善普及活動により、市民の主体的な健康づくりを推進しています。さらに、人間ドック検診費補助事業や特定健診などの各種健診事業により、一次予防、重症化予防に努めています。



健康寿命引き上げの対策は

ヘルスケアポイント制度は楽しみながら取り組める健康づくりへの支援として、新たな保健事業の一つと認識しています。厚生労働省の調査では、生活習慣の改善や健康に対する意識の向上、健診受診率の向上が図られたと報告されています。5月に成立した医療保険制度改革関連法により、保険者は自助努力への支援に努めることとされ、保険者が取り組む際のガイドラインが本年度中に示される予定です。今後、実施保険者の実例を検証しながら、調査検討していきたいと考えてます。

その他の質問

・マイレボ導入について
・公共施設の老朽化対策について
・防災について
・高齢者及び障がい者支援について
・18歳選挙権について

子育て支援の充実について

いせさき未来
馬庭 充裕

質問 本市は子育てについて、各相談や支援メニューが充実していますが、相談窓口の的確な選択は困難で、妊娠から子育てにおける医療、福祉及び教育を切れ目なく支援するための各相談窓口の一元化が課題と思われれます。

そこで、母子保健の充実として、支援体制についてお伺いします。

次に、子育て相談センターの総合窓口機能の強化を含めた相談窓口体制についてお聞かせください。

次に、発達障害の早期支援について、こども発達支援センターの利用の現状を含めてお聞かせください。また、サポートファイル導入と運用、さらに、幼稚園等で集団生活を受け、発達上の問題が明らかになってくる、5歳児健診の出前型健診実施についての考えもお聞かせください。

答弁 母子保健については、本年度から妊娠届出窓口を保健部門に一本化し、妊娠、出産に関する相談や育児を見据えた健康相談を早期に実施できるように機能強化を図りました。

また、支援を必要とする妊産婦に対しては、妊産婦支援として医療連携を行い、入院加療が必要な乳児に対し、医療機関等関係機関が退院支援会議を持ち、親子支援を行っています。

次に、相談窓口体制ですが、現在は子育てに関する事務を行う各部署で対応していますが、窓口間での連携を図り、市民の利便性向上に努めています。総合相談窓口の設置については、今後、研究していきたいと考えています。

次に、発達障害の早期支援については、健康診査で問題のなかった子供が、集団保育の中で発達課題が生じた場合は、こども発達支援センターや就学指導委員会等の関係機関と連携し発達支援に努めており、発達相談支援等のこども発達支援センターの昨年度の利用は、延べ4253人でした。

また、サポートファイルについては、現在自立支援協議会において内容を精査、作成中です。サポートファイルを利用することによって、さまざまなライフステージにおいて、保健、教育及び福祉の関係機関と保護者が情報を共有することにより、生涯継続した支援が受けられるものと考えています。

保育所等への出前型5歳児健診の実施は、専門スタッフの確保等実施に向けた検討をしていきたいと考えています。

その他の質問
・義務教育における校務効率化について

番 号	件 名	付託先	期 日	結 果
第125号	伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	経済市民	12.17	可決(全会一致)
第126号	伊勢崎市介護保険条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.17	可決(全会一致)
第127号	伊勢崎市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例案	経済市民	12.17	可決(全会一致)
第128号	伊勢崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.17	可決(全会一致)
第129号	伊勢崎市小口資金融資促進条例及び伊勢崎市中小企業活性化資金融資促進条例の一部を改正する条例案	経済市民	12.17	可決(全会一致)
第130号	伊勢崎市建築審査会条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.17	可決(全会一致)
第131号	伊勢崎市下水道条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.17	可決(全会一致)
第132号	伊勢崎市民病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.17	可決(賛成多数)
第133号	平成27年度伊勢崎市一般会計補正予算（第4号）	総 務	12.17	可決(全会一致)
第134号	平成27年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計補正予算（第1号）	総 務	12.17	可決(全会一致)
第135号	平成27年度伊勢崎市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	経済市民	12.17	可決(全会一致)
第136号	平成27年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算（第2号）	文教福祉	12.17	可決(全会一致)
第137号	平成27年度伊勢崎市下水道事業費特別会計補正予算（第2号）	建設水道	12.17	可決(全会一致)
第138号	平成27年度伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計補正予算（第1号）	建設水道	12.17	可決(全会一致)
第139号	平成27年度伊勢崎市水道事業会計補正予算（第1号）	建設水道	12.17	可決(全会一致)
第140号	平成27年度伊勢崎市病院事業会計補正予算（第2号）	文教福祉	12.17	可決(全会一致)
第141号	町の区域の変更及び字の区域の廃止について	総 務	12.17	可決(全会一致)
第142号	市道路線の廃止について	建設水道	12.17	可決(全会一致)
第143号	市道路線の認定について	建設水道	12.17	可決(全会一致)
第144号	人権擁護委員候補者の推薦について 中島薫氏（境下武士）		12.17	異議ないものと決定(全会一致)
第145号	人権擁護委員候補者の推薦について 栗原清美氏（境島村）		12.17	異議ないものと決定(全会一致)
第146号	人権擁護委員候補者の推薦について 細谷康夫氏（馬見塚町）		12.17	異議ないものと決定(全会一致)
第147号	人権擁護委員候補者の推薦について 齋藤壽氏（境）		12.17	異議ないものと決定(全会一致)

報 告

番 号	件 名	期 日	結 果
第33号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.30	報告
第34号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.30	報告
第35号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.30	報告
第36号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.30	報告
第37号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.30	報告
第38号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.30	報告
第39号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	11.30	報告

請 願

番 号	件 名	付託先	結 果
第2号	安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法制整備法案）の撤回を求める意見書の提出を求める請願	総 務	審査未了

陳 情

番 号	件 名	送付先
第4号-1	ＩＣＴ等を活用した芸術・文化の情報発信についての陳情	総 務
第4号-2	ＩＣＴ等を活用した芸術・文化の情報発信についての陳情	文教福祉
第4号-3	ＩＣＴ等を活用した芸術・文化の情報発信についての陳情	経済市民
第5号-1	中心市街地活性化対策の推進についての陳情	総 務
第5号-2	中心市街地活性化対策の推進についての陳情	経済市民
第5号-3	中心市街地活性化対策の推進についての陳情	建設水道
第6号	災害等緊急時に対応する危機管理体制の整備についての陳情	総 務
第7号	沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情	総 務
第8号	地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築についての陳情	文教福祉
第9号-1	製造業等の環境設備対策への支援についての陳情	経済市民
第9号-2	製造業等の環境設備対策への支援についての陳情	建設水道
第10号	小口資金融資制度の改善についての陳情	経済市民
第11号	高齢者の消費者被害を防止・救済する実効的な法制度の実現を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情	経済市民

常任委員会審査

11月30日の本会議で委員会付託された議案について、各常任委員会における審査経過及び結果概要は次のとおりです。

総務委員会

伊勢崎市部設置条例の一部を改正する条例案については、審査において、都市計画部に統合される中心市街地整備事務所の権限について質疑があり、これに対し、迅速性を重視して業務を遂行させるため、中心市街地整備事務所長に専決事項や予算執行等について、現在の中心市街地整備部長と同等の権限を与えるものであるとの答弁がありました。

次に、平成27年度伊勢崎市一般会計補正予算(第4号)については、審査において、交通安全施設整備事業の増額理由について質疑があり、これに対し、道路反射鏡、視線誘導標及び区画線の修繕料を見込んだものであるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された9議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

文教福祉委員会

伊勢崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例案については、審査において、市民税非課税世

帯における対象者数について質疑があり、これに対し、平成26年度の実績を踏まえ、2400人を見込んでいるとの答弁がありました。

次に、伊勢崎市民病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案については、審査において、費用徴収の適用基準について質疑があり、これに対し、救急外来受診後に入院した患者、軽症であるが緊急性を有する外来患者、手術を行った外来患者、内視鏡検査及びCT、MRI等の検査を実施した外来患者などについては、徴収しない意向であるとの答弁がありました。

次に、平成27年度伊勢崎市病院事業会計補正予算(第2号)については、審査において、C型肝炎の対象患者数について質疑があり、これに対し、C型肝炎1型については約70人、C型肝炎2型については約40人をそれぞれ見込んだものであるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された6議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

経済市民委員会

伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案については、審査において、条例改正に伴う経費の増減について質疑があり、これに対し、減免申請書の記載事項に個人番号の記入欄を加えるもので、新たな経費は発生しないとの答弁がありました。

伊勢崎市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例案については、

審査において、消費生活センターにおける職員体制について質疑があり、これに対し、センター長1人、事務職員1人及び相談員3人の計5人体制を予定しているとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された4議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

建設水道委員会

伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案については、審査において、条例改正に伴う収入見込み額について質疑があり、これに対し、近年の申請件数が年間15件程度であることから、75万円程度を見込んでいるとの答弁がありました。

次に、平成27年度伊勢崎市下水道事業費特別会計補正予算(第2号)については、審査において、下水道建設事業費の内容について質疑があり、これに対し、委託料については、事業費の確定による工事費への組み替えであり、工事請負費については、主に汚水管築造工事の設計変更に伴うものであるとの答弁がありました。

次に、市道路線の廃止については、審査において、（境）1-182号線の廃止内容について質疑があり、これに対し、本路線が、（伊）5-1369号線と重複して認定されていたため、廃止するものであるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された8議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

平成27年第5回定例会提出議案等の審議結果

市長提出議案

番 号	件 名	付託先	期 日	結 果
第117号	伊勢崎市部設置条例の一部を改正する条例案	総 務	12.17	可決(全会一致)
第118号	伊勢崎市個人情報保護条例の一部を改正する条例案	総 務	12.17	可決(全会一致)
第119号	伊勢崎市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例案	総 務	12.17	可決(全会一致)
第120号	伊勢崎市職員定数条例の一部を改正する条例案	総 務	12.17	可決(全会一致)
第121号	伊勢崎市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	12.17	可決(全会一致)
第122号	伊勢崎市市税条例の一部を改正する条例案	総 務	12.17	可決(全会一致)
第123号	伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.17	可決(全会一致)
第124号	伊勢崎市立学校設置条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.17	可決(賛成多数)